

令和元年度全国学力・学習状況調査から見える吉田町の児童生徒について
(教科に関する調査結果・生活習慣や学習環境等に関する調査結果)

令和元年 11 月 1 日
吉田町教育委員会

吉田町教育委員会では以下の目的により、平成 26 年度から全国学力・学習状況調査の結果を公表してまいりました。

結果公表の目的

児童生徒の学力・学習状況における課題を共有し、生活習慣や家庭学習の改善を推進する。また補充学習の充実を図る。

本年度におきましても、文部科学省から提供された調査結果を基に、教育委員会及び各学校において、分析・検証を行いましたので、結果をお知らせいたします。

調査結果から見えたそれぞれの課題については、調査結果を分析し、日々の授業改善に生かすことにより早期に対応してまいります。今後も学校・家庭・地域が一体となって児童生徒の学力の向上に取り組んでいきたいと考えておりますので御理解・御協力をお願いいたします。

なお、次の点について御承知くださるようお願いいたします。

- ・この調査により測定できるのは、学力の特定の一部であること
- ・学校別結果の公表に当たっては公表する内容や方法等について、学校と事前に十分な相談を行っていること

公表資料に関する問い合わせ先

担当 学校教育課
電話 33-2151
FAX 33-2155

1 調査の概要

(1) 目的（文部科学省のねらい）

- ア 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ウ ア、イのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査実施日

令和元年4月18日(木)

(3) 吉田町の実施学校数及び実施児童生徒数

- ア 小学校
3校（住吉小学校・中央小学校・自彊小学校） 児童数 275人（第6学年）
- イ 中学校
1校（吉田中学校） 生徒数 256人（第3学年）

(4) 調査内容

- ア 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語…中学校のみ）
- イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - (ア) 児童生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等）
 - (イ) 学校に対する調査（指導方法に関する取組や教育条件の整備の状況等）

2 調査結果の概要

吉田町の全体的な成果、課題

(1) 成果

- ア 小学校において、国語と算数の平均正答率が全国及び県を上回った。
- イ 中学校において、数学と英語の平均正答率が全国を上回った。
- ウ 本年度の中学校3年生数学の全国との平均正答率の差は、当該学年の生徒が小6であった際の全国との平均正答率の差と比べて、上昇している。

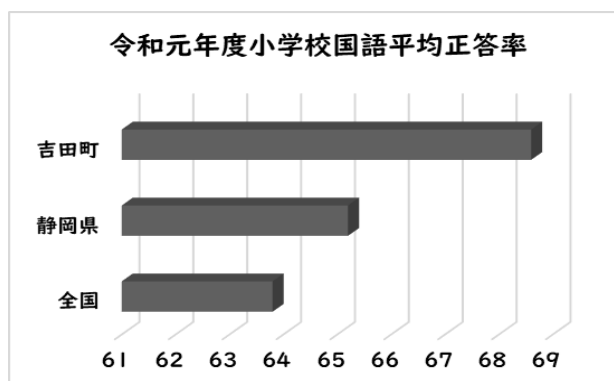
(2) 課題

- ア 中学校において、国語の平均正答率が全国及び県を下回った。
- イ 本年度の中学校3年生国語の全国との平均正答率は、当該学年の生徒が小学校6年生であった際の全国との平均正答率と比べて、低下している。

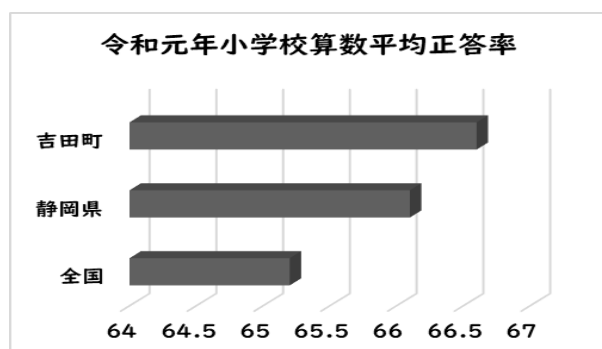
3 吉田町の教科に関する調査結果（全国との平均正答率の差）

(1) 小学校第6学年の教科に関する調査結果

区分	令和元年度			
	全国	静岡県	吉田町	全国との差
国語	63.8	65.2	68.6	+4.8
算数	65.2	66.1	66.6	+1.4



平均正答率 (%)



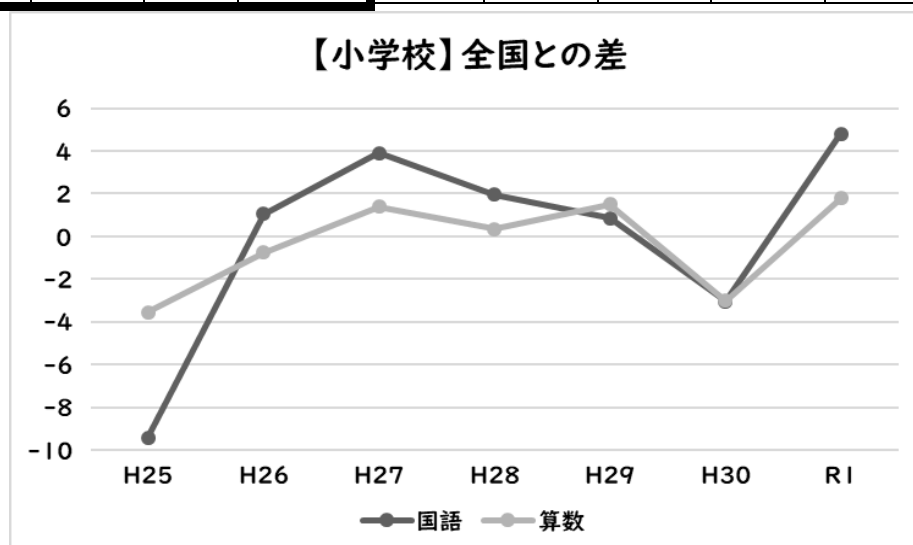
※全国平均及び県平均と比較を行うために小数点以下の数字については、国及び県と同様の方法で吉田町教育委員会において算出。

※令和元年度より、国語 A・国語 B 及び算数 A・算数 B が統合され「国語」と「算数」となった。

(2) 経年比較（参考）

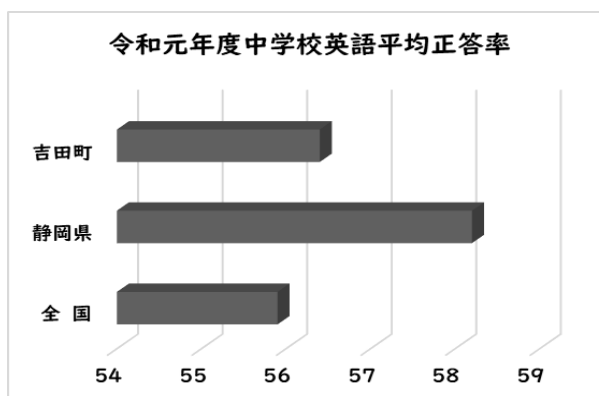
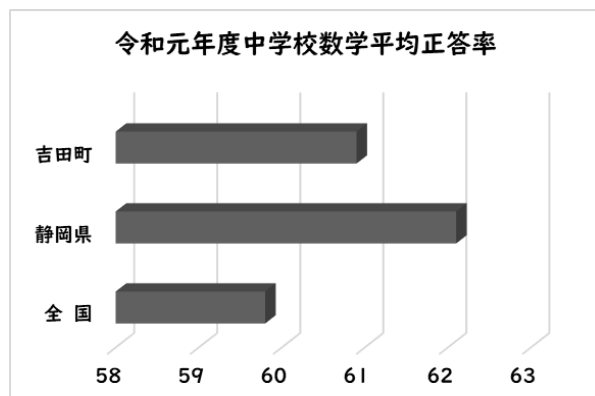
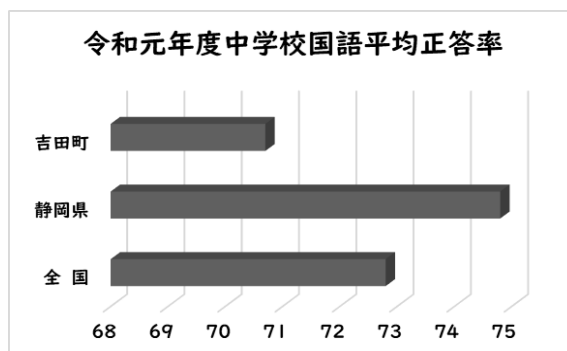
※平成 30 年度までの結果は、国語 A・国語 B 及び算数 A・算数 B を足して平均を出し「国語」「算数」の平均正答率を算出。

区分	令和元年度				H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度	H26 年度	H25 年度
	全国	静岡県	吉田町	全国との差	全国との差	全国との差	全国との差	全国との差	全国との差	全国との差
国語	63.8	65.2	68.6	+4.8	-3.1	+0.9	+2.0	+4.0	+1.1	-9.4
算数	65.2	66.1	66.6	+1.4	-3.0	+1.5	+0.4	+1.4	-0.8	-3.6



(3) 中学校第3学年の教科に関する調査結果

区分	令和元年度			
	全国	静岡県	吉田町	全国との差
国語	72.8	74.8	70.7	-2.1
数学	59.8	62.1	60.9	+1.1
英語	55.9	58.2	56.4	+0.5



平均正答率 (%)

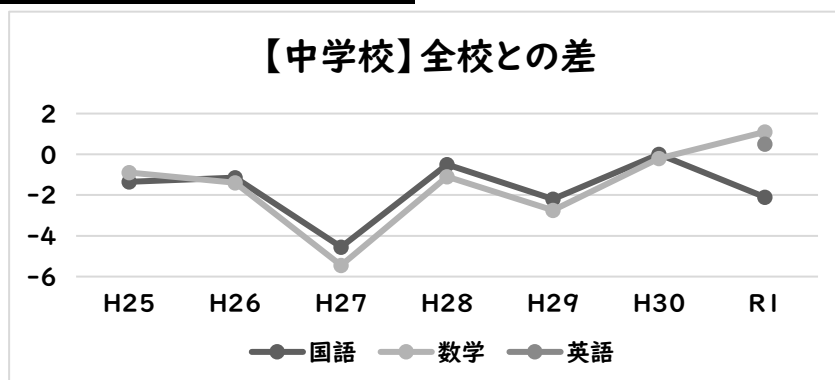
※全国平均及び県平均と比較を行うために、小数点以下の数字については、国及び県と同様の方法で吉田町教育委員会において算出。

※令和元年度より、国語A・国語B及び数学A・数学Bが統合され「国語」と「数学」となったため。「英語」は、今年度初実施。

(4) 経年比較 (参考)

※平成30年度までの結果は、国語A・国語B及び数学A・数学Bを足して平均を出し「国語」「数学」の平均正答率を算出。

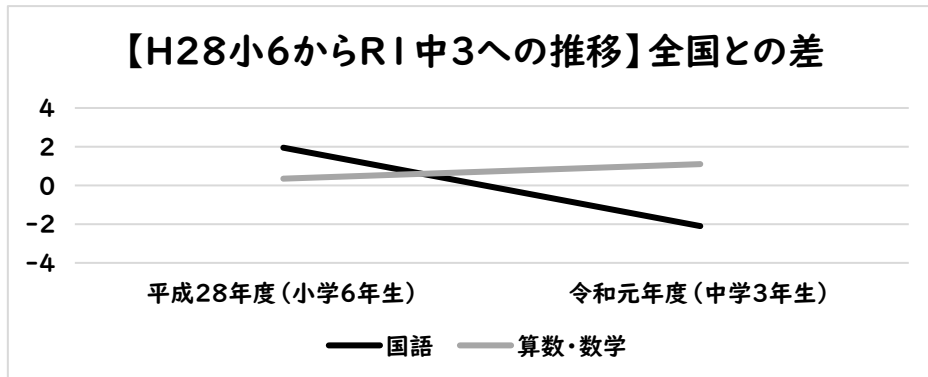
区分	令和元年度				H30年度	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度
	全国	静岡県	吉田町	全国との差	全国との差	全国との差	全国との差	全国との差	全国との差	全国との差
国語	72.8	74.8	70.7	-2.1	0	-2.2	-0.5	-4.6	-1.2	-1.4
数学	59.8	62.1	60.9	+1.1	-0.2	-2.8	-1.1	-5.5	-1.4	-0.9
英語	55.9	58.2	56.4	+0.5						



(5) 平成 28 年度小学校第 6 学年から令和元年度中学校第 3 学年への推移

区分	平成 28 年度(小学6年生)			令和元年度(中学3年生)		
	全国	吉田町	全国との差	全国	吉田町	全国との差
国語	65.4	67.3	+1.9	72.8	70.7	-2.1
算数・数学	62.4	62.8	+0.4	59.8	60.9	+1.1

平均正答率(%)



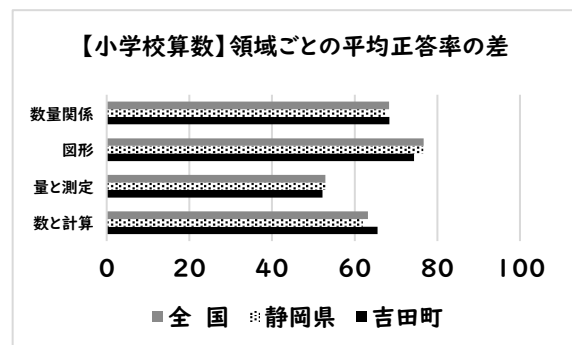
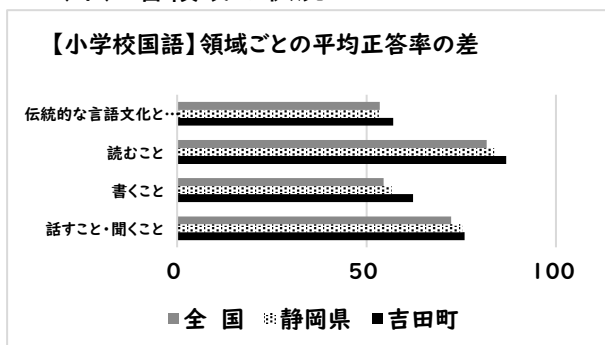
(6) 吉田町全体の教科ごとの分析結果

ア 小学校

(ア) 成果と課題

国語	<p>○全ての領域において、平均正答率が全国・静岡県を上回った。特に、「目的に応じて、文章全体を概観して効果的に読む問題」の正答率が高い。</p> <p>●「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」に課題がある。条件に合わせて書くなど、「自分の考えを書く活動」を授業の中で継続的に行っていく必要がある。</p> <p>●「漢字を文の中で正しく使うこと」に課題がある。漢字の学習においては、手本を視写するだけでなく、他教科の授業や実生活において、習った漢字を進んで正しく使う意識を高めていく必要がある。</p>
算数	<p>○「数と計算」「数量関係」の領域の平均正答率が全国・静岡県を上回った。特に、「1つの棒グラフの読み取りに関する問題」の正答率が高い。</p> <p>●「2つのグラフを読む」ことの平均正答率が全国・静岡県より低い。2つ以上の資料を比較して考える活動を意図的に取り入れていくことが大切である。また、「図形」の領域の平均正答率が全国・静岡県よりも低い。複数の図形の性質や構成要素を関連付けながら考える場面を今以上に授業の中に取り入れたい。</p> <p>●「求め方や理由を説明すること」にも課題がある。知識・理解や技能の習得にとどまらず、説明する活動の充実を図る必要がある。その際、自分の考えを説明するだけでなく、ある式から考え方を考えそれを説明する等、工夫が必要である。</p>

(イ) 各領域の状況



(ウ) 課題となる問題

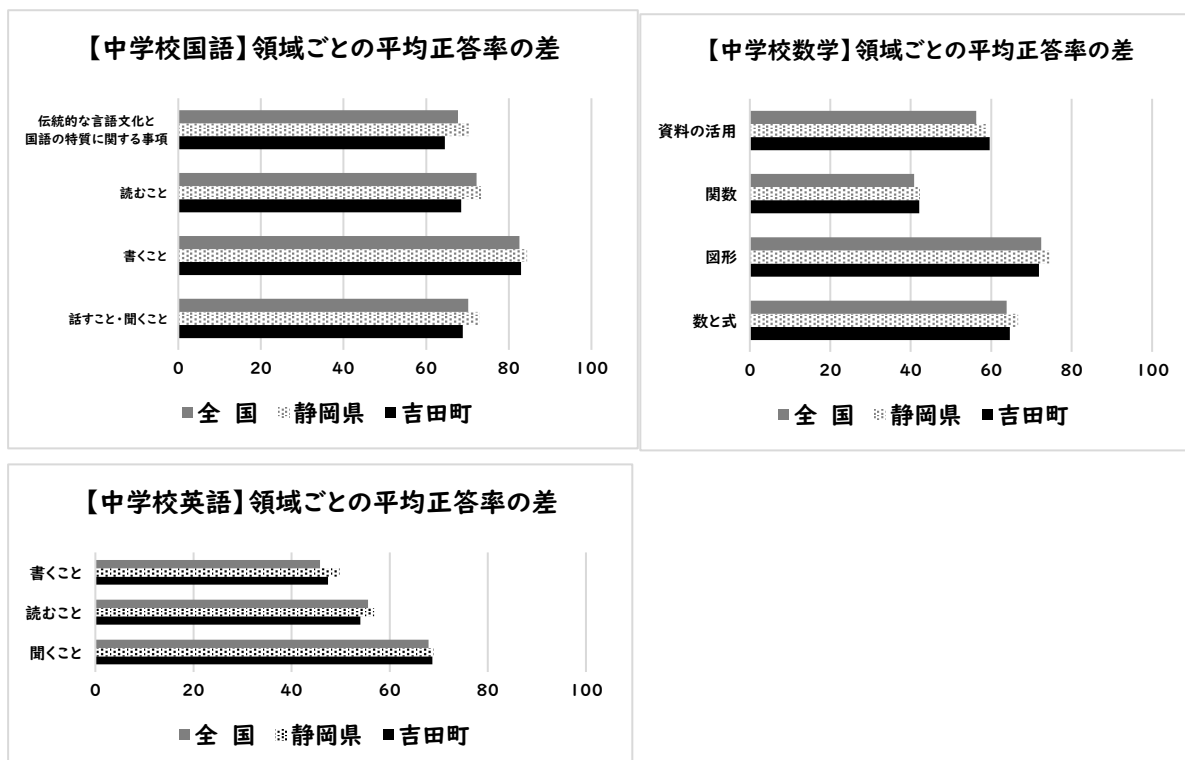
教科	問題 番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無解答率(%)		
				吉田町	全国	差	吉田町	全国	差
小学校 国語	1三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く	38.9	28.8	10.1	4.0	3.8	-0.2
	1四 (2)	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す	文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く	47.6	47.8	-0.2	14.5	11.3	-3.2
	1四 (1) ウ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の—部ウを、漢字を使って書き直す(かんしんをもってもらいたい)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	35.6	35.6	0.0	3.3	4.9	1.6
小学校 算数	1 (2)	二つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくり、できる形を選ぶ	図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる	55.3	60.3	-5.0	0.7	0.6	-0.1
	1 (3)	減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く	示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる	42.2	43.9	-1.7	5.5	6.7	1.2
	2 (3)	二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだわけを書く	資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる	49.8	52.1	-2.3	2.2	2.0	-0.2
	3 (2)	減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようなになるのかを書く	示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる	36.4	31.1	5.3	12.0	10.8	-1.2

イ 中学校

(ア) 成果と課題

国 語	<p>○「書くこと」の領域の平均正答率が全国を上回った。特に、書いた文章を読み直し、論の展開にふさわしい言葉を選択する問題の正答率が高い。</p> <p>●「読むこと」の領域の平均正答率が全国・静岡県よりも低い。特に、「文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ」ことに対して課題がある。文章の構成や展開等、文章全体を捉えた読み方ができるように、文や文章全体を概観して効果的に読むような授業展開にしていく必要がある。また、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域も平均正答率が全国よりも低い。封筒の書き方等、授業だけではなく、朝学習の時間等で適切な時期に適宜指導していくようにしたい。</p>
数 学	<p>○「資料の活用」の領域の平均正答率が全国・静岡県よりも高い。「関数」の領域では、平均正答率が全国よりも高い。「図形」の平行や合同条件の理解に関する問題において、正答率が高い。</p> <p>●「関数」の領域の平均正答率が全国を上回ったものの、吉田町平均正答率が3割台と低い。ここ数年、同様の傾向が繰り返されており、2つの数量の関係に関数関係を見だし、変化を考えさせるなど、引き続き指導方法の見直しが必要である。小学校同様、「求め方や理由を説明すること」に課題がある。知識・理解や技能の習得にとどまらず、説明する活動の充実を図る必要がある。また、2つ以上の資料を比較して考える等、複数の資料から考えを形成する活動を展開していく必要がある。</p>
英 語	<p>○「聞くこと」の領域の平均正答率が全国を上回った。「聞いた内容を理解する問題」において、正答率が高い。</p> <p>●「読むこと」の領域の平均正答率が全国・静岡県よりも低い。「読んだことに対して書く」や「聞いたことに対して書く」ことも、「読むこと」「聞くこと」の目標に含まれる。授業の中で、実際のコミュニケーション場面を意識し、子どもが聞いたり読んだりしたことをもとに、目的・場面・状況に応じて、「何をどのように伝えたらよいか」を考えて表現するといった、技能統合型の言語活動を取り入れていく必要がある。</p>

(イ) 各領域の状況



(ウ) 課題となる問題

教科	問題 番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無解答率(%)		
				吉田町	全国	差	吉田町	全国	差
中学校 国語	1一	「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。……第一回は、弁当です。」について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ	59.0	63.9	-4.9	1.6	0.1	-1.5
	1二	「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える	55.9	61.5	-5.6	0.0	0.1	0.1
	1四	「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く	封筒の書き方を理解して書く	48.8	56.8	-8.0	10.2	5.6	-4.6
中学校 算数	6 (1)	冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pのy座標と点Qのy座標の差が表すものを選ぶ	グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる	33.2	38.8	-5.6	0.4	0.3	-0.1
	6 (2)	冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	30.5	34.7	-4.2	15.6	11.6	-4.0
	8 (2)	「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	44.5	40.8	3.7	21.5	21.3	0.2
中学校 英語	4	来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く	聞いて把握した内容について、適切に応じることができる	7.4	7.6	-0.2	48.0	42.3	5.7
	8	食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く	書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる	5.9	10.9	-5.0	37.5	27.9	-9.6
	10	学校を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く	与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる	1.2	1.8	-0.6	16.0	8.3	-7.7

4 吉田町の生活習慣や学習環境に関する調査結果（全国との平均正答率の差）

(1) 吉田町の全体の結果

ア 全国よりも肯定的な回答が特に高い事項

<小中学校共通>

設 問	小中	全国 (%)	吉田町 (%)
今住んでいる地域の行事に参加している	小	68.0	80.4
	中	50.6	73.5
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる	小	65.7	78.2
	中	61.5	75.4
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている	小	74.0	82.2
	中	71.6	83.6

<小学校>

設 問	全国 (%)	吉田町 (%)
家で自分で計画を立てて勉強している	71.5	79.6
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている	74.1	80.3

<中学校>

設 問	全国 (%)	吉田町 (%)
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している	70.3	80.5
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	39.4	55.1
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	65.6	79.3
数学の勉強は好きだ	57.9	67.2
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う	76.2	85.9

イ 全国よりも肯定的な回答が特に低い事項

<小中学校共通>

設 問	小中	全国 (%)	吉田町 (%)
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、2時間以上勉強をする	小	29.3	21.5
	中	35.5	25.4
小学生は5年生までに、中学生は1・2年生の時に受けた授業で、コンピューターなどのICTを週1回以上使用した	小	30.6	22.5
	中	30.6	14.5
読書は好きだ	小	75.0	66.6
	中	68.0	58.2

<小学校>

設 問	全国	吉田町
学校の授業時間以外に、普段1時間以上読書をする	18.3	10.5
国語の勉強は好きだ	64.2	54.5

<中学校>

設 問	全国	吉田町
国語の授業の内容はよく分かる	77.6	70.3
英語の授業の内容はよく分かる	66.0	57.4
将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたい	41.3	34.8
解答時間は十分だった（英語）	63.0	56.6

小中学校共に、学級生活をよりよくするために、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている児童生徒が多く、よりよい学級作りをしようとしていることがわかる。小学校においては、学級の友だちとのコミュニケーションを通して、自分の考えを深めたり広げたりできており、今後も、意図的な対話を取り入れた授業展開をしていきたい。

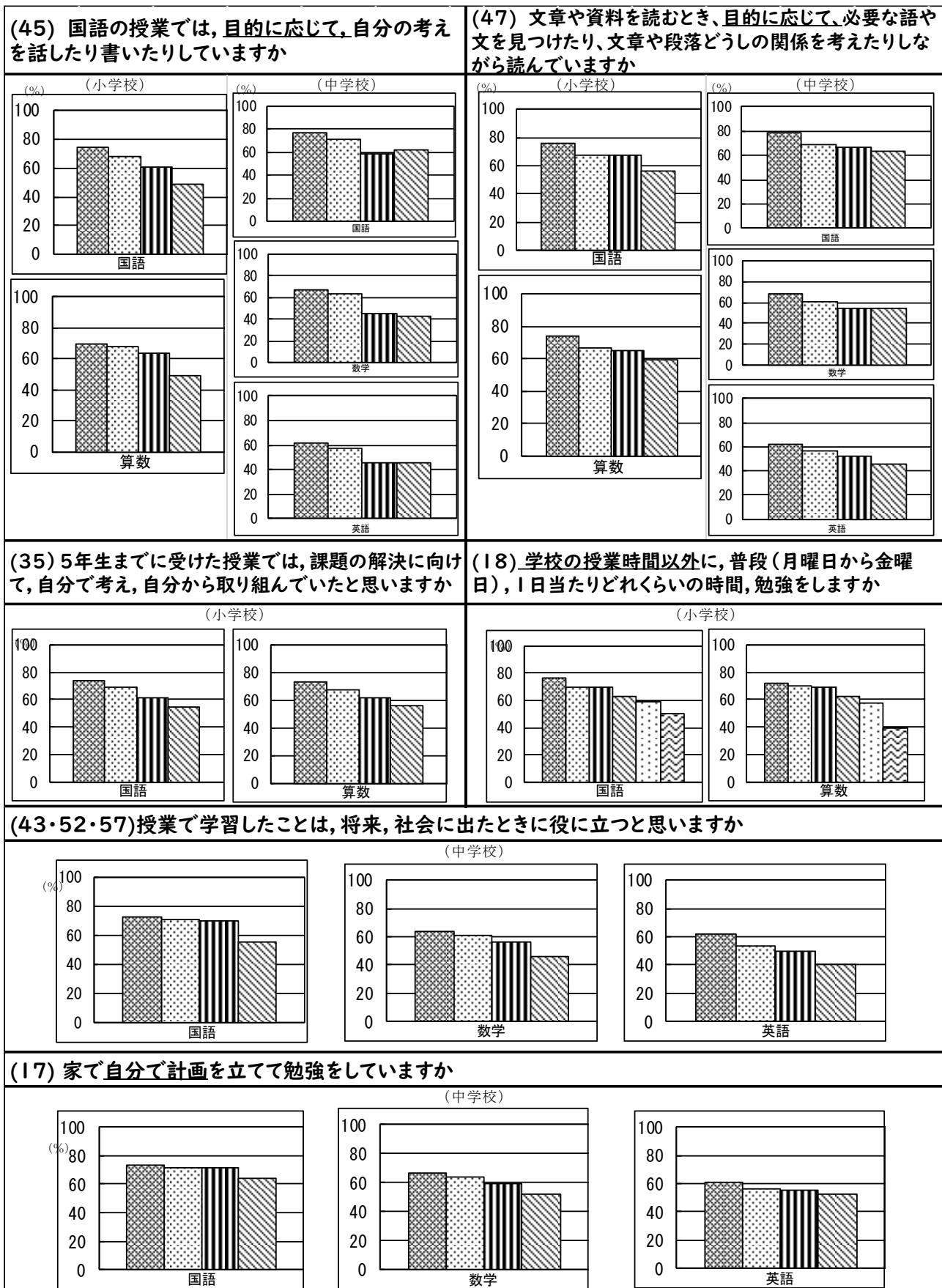
小中学校共に、地域の行事への参加率が高い。しかし、地域や社会をよくするために何をすべきか考える児童生徒は、全国と比べて多いものの十分ではない。地域を意識した授業展開や活動を取り入れ、学習を地域や社会とつなげていくようにしたい。

小中学校共に、ICTを活用した授業の実施が少ない。効果的な活用方法を考えながら、積極的に活用していくようにしたい。また、全国と比べて、家庭での学習時間が少ない。ICTの活用も含め、「もっとやりたい」「もっと知りたい」授業を展開し、家庭への学習へつなげるようにしていきたい。

5 クロス集計結果

<肯定的な回答をした児童生徒ほど、平均正答率が高い事項>

※児童生徒を正答数の大きい順に整列し、人数比率で4つの層に分けている。左側が正答数の大きい層となる。縦軸…平均正答率(%) 横軸…設問への回答類型(肯→否)



小中学校共に、「目的に応じて」自分の考えを話したり書いたりしている児童生徒、また、「目的に応じて」文章や段落の関係を考えて読んでいる児童生徒は、平均正答率が高い。そのため、「何のために（目的）、何をやるのか（内容）」等、児童生徒に見通しをもたせた授業を行うことが大切である。

小学校では、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ」という児童は、平均正答率が高い。児童生徒が主体的に取り組むために、導入や学習課題の工夫が必要である。

中学校では、「学習したことが、将来、社会に出たときに役立つと思う」生徒の平均正答率が高い。授業での学習を実生活に結び付けていけるよう、どの教科でも、児童生徒が見方・考え方を働かせた授業展開をし、「学んだことが何に生かせそうか」等、振り返りをしっかり行っていく必要がある。

家庭学習においても、「授業時間以外の勉強時間が多い」児童ほど平均正答率が高く、「自分で計画を立てて勉強している」生徒ほど平均正答率が高い。家庭学習の充実も今以上に考えていかなければならない。

6 学校別 調査結果及び分析結果と今後の対応

(1) 小学校

ア 住吉小学校（教科に関する調査結果）

分析結果	【成果】
<国語>	○「目的に応じてまとめて書く」（1—三）「目的に応じて読む」（2—（1）（2）） 「目的に応じて質問を工夫する」（2—二）という問題に合わせた対応ができています。 （1—二）
<算数>	・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える ○示された式の意味理解ができています。（2—（4）） ・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる。 $6 + 0.5 \times 2$
<国語>	【課題】
<算数>	○伝えなければいけないことを端的に伝えることが苦手である。（1—四（2）） ・文と文との意味の繋がりを考えながら接続語を使って内容を分けて書く。 ○図形の構成要素の理解が十分ではない（1—（2）） ・図形の性質や構成要素に着目し、他の図形を構成することができる。 ○何が使えるそうかという数学的な見方・考え方の部分が育っていない。（3—（2））
今後の対応	○低学年からの取り組み
<国語>	・絵日記、行事後の感想文、町探検で発見したこと等の生活場面を書かせるようにする。その際は順序を表す言葉をキーワードとして取り入れさせ、順序を表す接続詞に慣れて使えるようにする。なお、書いた際は教師が推敲し、児童が正しく接続詞を用いて書けるようにする。
	○中学年以降の取り組み
	・毎週行っている週末課題を利用していく。理由（なぜなら等）をキーワードとして入れて書くだけでなく、「そこで」（転換）、「このように」（結論）などもキーワードとして取り入れ、様々な接続詞を使えるようにする。またその際、自分で見直したり、友達の記事も推敲したりできるようにする。
	○全校としての取り組み
	・教科書の巻末の文法事項（言葉のきまり）を活用し、推敲の視点がもてるようにする。 ・本校で取り組んでいる「対話週間」を活用する。対話週間をふりかえることで、結論先行で話すことでも自分の考えを順序よく伝えられることを児童自身が体感できるようにする。

<p><算数></p>	<p>○図形の構成要素の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内遊びの時間を有効に使う。例えば「さんすうボックス」で遊んだり、折り紙を折ったり、立体パズルで遊んだりするなど、遊びから体感的に図形に親しむことができるようにする。 <p>○応用問題の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の終末に、同じような説明で解ける、既習の問題から（部分的に）レベルアップした問題を提示して説明させる等、応用問題を用いて必要な情報を落とさずに使えることができるようにする。 <p>○1－（2）、3－（2）に共通した取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数の用語を正しく理解して使えるように、根拠を明確にして説明する時間（書く・話す）を単元内に必ず取り入れるようにする。 ・問題を解くのに必要な情報を素早く読み取ることができるように、問題文の視写を行う。
-------------------	--

住吉小学校（生活習慣や学習環境等に関する調査結果）

<p>分析結果</p>	<p>【成果】 （全国と比較してよくできていること） ※全国よりも肯定的な回答が5ポイント以上高い事項</p>	<p>（17）家で自分で計画を立てて勉強をしていますか （23）今住んでいる地域の行事に参加していますか （29）学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか （32）あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか （38）国語の勉強は大切だと思いますか （43）国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか （51）算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか （54）算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか</p>
	<p>【課題】 （全国と比較してできていないこと） ※全国よりも肯定的な回答が5ポイント以上低い事項</p>	<p>（21）読書は好きですか （22）新聞を読んでいますか （25）外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いますか （26）日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか</p>

<今後の対応>

○（21）（22）について

- ・これまで行ってきた、保護者や地域人材による「お話玉手箱」を今後も活用しつつ、例えば物語文の関連読書ができるように、教師が終末に読み聞かせを行ったり、司書教諭も活用して関連読書を紹介したりして、子どもが読書を広げていけるようにする。
- ・家庭環境やインターネットの普及も影響しており、新聞に触れる機会に差があるため、これまで子ども新聞などを活用していろいろな記事を子どもたちに紹介してきた。今後ともこの取り組みは継続していくが、高学年では海外の情勢など世界や未来に対して広い視野や興味をもてるような記事を選んで紹介していくようにする。

○（25）（26）について

- ・吉田町内にはALTが3人いる。教育委員会にも協力を仰ぎ、隣接校のALTを招いて子どもたちが慣れていない外国の方に、英語で伝える（中学年はふれあう）経験をさせる。
- ・例えば5年生では総合的な学習の時間に「防災」について調べている。「避難経路」や「防災グッズの紹介」などを、地域に住む外国の方が災害時に身を守れるような情報を発進する機会を設けることで、外国の人に伝えることができたという経験をさせる。

イ 中央小学校（教科に関する調査結果）

<p>分析結果</p> <p><国語></p> <p><算数></p> <p><国語></p> <p><算数></p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて、文章の内容を明確に押さえ。自分の考えを明確にしなが ら読むことができる。 ・記述式の問題の正答率が高い。 ・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる。 <p><算数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・示された計算の仕方を解釈し、除法について成り立つ性質を記述する ことができる。 ・示された計算の仕方を解釈し、計算の仕方を工夫することができる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同音異義語の区別ができていない。 ・文章の要旨を読み取ることができていない。 ・情報を相手にわかりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉えるこ とができていない。 ・加法と乗法の混合した計算の正答率が低い。 <p><国語></p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項をもとに考える力が弱い。 ・算数用語を使つての説明ができない。 ・文章から問題の意図を読み取ることができない。 <p><算数></p>
<p>今後の対応</p> <p><国語></p> <p><算数></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何を聞かれていて、どう答えればよいか考える活動を組み込む。 ・書き出しと文末が合うよう丁寧に作文指導を行う。 ・主語と述語の関係を考える活動を取り入れる。 ・理由を述べる時、「〇〇だから」という書き方、言い方の指導を行う。 ・漢字の学習の中で、熟語の意味を考える時間を設ける。 ・段落を意識した指導、授業づくりを行う。 ・四則計算の混ざった練習問題を意図的に組み入れる。 ・既習事項の掲示、復習の時間を確保する。 <p><算数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で教師が算数用語を意図的に使う。 ・低学年からの積み重ねを意識する。 ・問題を読み取る時間を確保する。 ・図や挿絵を使って問題場面の理解を図る。

中央小学校（生活習慣や学習環境等に関する調査結果）

<p>分析結果</p>	<p>【成果】 （全国と比較してよくできていること） ※全国よりも肯定的な回答が5ポイント以上高い事項</p>	<p>(23) 今住んでいる地域の行事に参加していますか。</p> <p>(31) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか。</p> <p>(32) あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。</p> <p>(36) 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話しの組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。</p>
	<p>【課題】 （全国と比較してできていないこと） ※全国よりも肯定的な回答が5ポイント以上低い事項</p>	<p>(12) 学校に行くのは楽しいと思いますか。</p> <p>(13) 学校の決まりを守っていますか。(21) 読書は好きですか。</p> <p>(24) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることができますか。</p> <p>(27) 5年生までに受けた授業で、コンピューターなどのICTをどの程度使用しましたか。</p> <p>(37) 国語の勉強は好きですか。</p> <p>(44) 国語の授業で文章や資料を読む時、目的に応じて、必要な語や文を、見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか。</p> <p>(46) 算数の勉強は好きですか。</p> <p>(52) 算数の問題の解き方が分からない時は、諦めずにいろいろな方法を考えますか。</p>

<今後の対応>

- ・朝の活動の時間で、ブックトークや読み聞かせを行い、継続的に本にふれあう時間を設ける。
- ・地域に根ざした教材や日常生活に関連する学習課題を意図的に設定する。
- ・ICTの活用事例を共有し合い、意図的にICTを活用する。
- ・国語の学習で、魅力ある言語活動を設定し、目的を明確にして文章や資料を読む活動に取り組む。
- ・既習事項を想起させる手立て（掲示や復習）を意図的に行う。
- ・算数の学習で、児童が数学的な見方・考え方を働かせるような学習課題を設定する。

ウ 自彊小学校（教科に関する調査結果）

<p>分析結果</p> <p><国語></p> <p><算数></p> <p><国語></p> <p><算数></p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に正答率が高かった。特に、全国平均よりも大きく高かった設問について挙げる。 ◎2-（2）目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む。 ◎3三 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる。 ◎3四 ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる。 ・県、全国共に正答率は上回っているが、設問による正答率の差が激しい。大きく上回っているものを挙げる ◎3（2）示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる。 ◎3（3）示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる。 ◎4（2）示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県、全国の正答率を下回ったのでは一問のみ。 ▼1四（1）ウ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。 ※漢字の設問中3問の、平均との差異がそれぞれ違う。（平均並み、高い、低い） ・県、全国の正答率を下回ったのは4問。内2問が図形、1問がグラフに関するもの。 ▼1（2）図形の性質や構成要素に着目し、他の図形を構成することができる。 ▼1（3）示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる。 ※図形、グラフなど問題慣れしていない児童が見受けられた。
<p>今後の対応</p>	<p>国語、算数ともに、平均正答率については良い結果が見られた。これも6年までに積み上げてきた学習体験（町学力調査、基礎基本の繰り返し、辞書活用、継続した学び）の成果であると感じる。</p> <p>しかし、漢字や図形、グラフについては設問により差が見られる。今後も本校の取組を継続して進めるとともに、漢字については、言葉の意味に着目して漢字学習に取り組んだり、図形、グラフについては教科横断的に様々な場面で扱ったりして、知識及び技能を定着させ、思考へと繋げる指導を進めていく。</p>

自彊小学校（生活習慣や学習環境等に関する調査結果）

分析結果	<p>【成果】 （全国と比較してよくできていること） ※全国よりも肯定的な回答が5ポイント以上高い事項</p>	<p>（4）学校での出来事を話す。 （5）自分には良いところがある。 （9）最後までやりとげて嬉しい。 （10）失敗を恐れずに挑戦している。 （17）家で計画を立てて勉強している。 （23）地域行事に参加している。 （24）地域や社会をよくするために考える。 （28）ICTを活用したい。 （29）話し合いで自分の考えを深め、広げる。 （33）自分が努力することを決めて取り組んでいる。</p>
	<p>【課題】 （全国と比較してできていないこと） ※全国よりも肯定的な回答が5ポイント以上低い事項</p>	<p>（7）先生は分かるまで教えてくれる。 （13）決まりを守っている。 （15）いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。 （19）一日あたりの読書の時間 （21）読書は好きか？ （27）5年生でICTをどの程度使用したか？</p>

<今後の対応>

- ・毎日の自主学習ノート（予定、日記、メモ、学習）が習慣となり身につけてきて、時間を有効に使い学習に取り組むようになってきた。先を見越しての計画に沿って生活ができていく。今後も継続して指導していく。
- ・「決まりを守る」「いじめを許さない」の項目が低い。学校生活の中で、「ほめ言葉のシャワータイム」に取り組んでいる。気持ちよく生活できるように指導を継続し、他と共生できる児童に育てたい。

(2) 中学校

吉田中学校（教科に関する調査結果）

<p>今後の対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書くことへの抵抗感を減らすため、日々の授業では自分の考えや授業内容をまとめる機会を増やしていく。 ・読むことについては注意深く読む習慣を付けられるように、本文に根拠を求める読みを意識させていく。 ・場面読みではなく、「単元を貫く言語活動」を取り入れるようにしていく。
<p><国語></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な考え方が出るような学習課題を提示し、考える授業をつくっていくように数学部で意識していく。その際、対話的な学びにより、考えを深めたり広げたりする時間を設定する。 ・振り返りを大切にするとともに、練習問題を行う時間を確保し、定着を図る。 ・学習指導要領の付けたい力を押さえた授業・単元を構想していく。
<p><数学></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動などで自分の考えを英語で伝え、その根拠や理由まで付け加えて2、3文で書いたり話したりすることができるような活動を取り入れる。まずは定型文のような形を覚えさせて、応用ができるような活動にしてい ・まとまりのある英文を読んだり聞いたりして、理解したことを英文で表すような問題においては、文法的な間違いよりもコミュニケーションとして成り立つかどうかを重視し、相手に伝えることを恐れないように、授業の中で意識付けをしていく。
<p><英語></p>	

吉田中学校（生活習慣や学習環境等に関する調査結果）

分析結果	<p>【成果】 （全国と比較してよくできていること） ※全国よりも肯定的な回答が5ポイント以上高い事項</p>	<p> (1) 朝食を毎日食べていますか (8) 将来の夢や目標を持っていますか (10) 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか (23) 今住んでいる地域の行事に参加していますか (24) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか (32) 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか (34) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか (35) あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか (36) 学級活動における学級の話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか (37) 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか (38) 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか (44) 国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか (46) 国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか (49) 数学の勉強は好きですか (52) 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (62) 1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか (63) 1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか </p>
<p>【課題】 （全国と比較してできていないこと） ※全国よりも肯定的な回答が5ポイント以上低い事項</p>	<p> (18) 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか (21) 読書は好きですか (30) 1、2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか (42) 国語の授業の内容はよく分かりますか (54) 英語の勉強は好きですか (56) 英語の授業はよくわかりますか (59) あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか (67) 解答時間は十分でしたか（国語） (68) 解答時間は十分でしたか（数学） (69) 解答時間は十分でしたか（英語） </p>	

<今後の対応>

- ・各教科部を中心に、学力調査で課題となった部分を受け止め、授業改善に生かしていく。各教科の学習が好きになってもらえるように、日常生活や実態に合わせた教材の工夫を取り入れていく。
- ・解答時間が足りないと答えている生徒が多かったため、授業や日常生活の中でも限られた時間内に課題をやり切ることができるように指導をしていく。生徒の実態に合わせて、思考をするための妥当な時間を設け、設定した時間を安易に引き延ばさないようにする。
- ・家庭での学習時間が全国に比べて少ないため、帰りの会で学習計画を立てることを徹底するとともに、家庭学習の効果的な方法について指導を継続する。その際、家庭とも連携を図って、家庭学習について見守りをお願いしていく。
- ・各教科の授業では、授業に即座に生きる宿題を出したり、予習になるような宿題を出したり、単元テストの対策と関連付けた宿題を出したりするなど家庭学習に必然性を持たせる取組を行っていく。
- ・司書教諭や学校図書と連携し、読書の魅力を伝えていく。
- ・ICT機器は生徒にとって興味・関心をそそるものであるため、授業でICTを活用する機会を増やして意欲的に学習に取り組めるようにしていく。そのために、ICTの環境整備を町教育委員会に依頼していく。